

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-116439

(P2001-116439A)

(43) 公開日 平成13年4月27日 (2001.4.27)

(51) Int.Cl.⁷

F 25D 23/04

識別記号

F I

F 25D 23/04

テ-マコード(参考)

F

審査請求 未請求 請求項の数 1 OL (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平11-297636

(22) 出願日

平成11年10月20日 (1999.10.20)

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目 6 番地

(72) 発明者 田中 佳子

栃木県下都賀郡大平町大字富田709番地の

2 株式会社日立栃木エレクトロニクス内

(72) 発明者 荒川 敏

栃木県下都賀郡大平町大字富田709番地の

2 株式会社日立栃木エレクトロニクス内

(72) 発明者 白石 健司

栃木県下都賀郡大平町大字富田800番地

株式会社日立製作所冷熱事業部内

(74) 代理人 100075096

弁理士 作田 康夫

(54) 【発明の名称】 冷蔵庫の卵収納装置

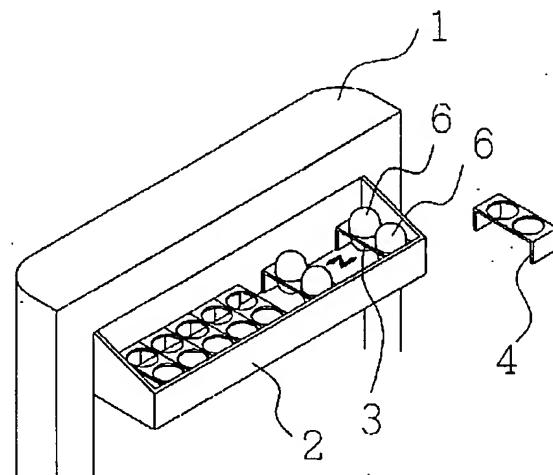
(57) 【要約】

【課題】必要な数だけの収納空間を任意に変更でき、古い卵と新鮮な卵とを容易に整理分けし、常に古い卵から取り出すことができる冷蔵庫用卵収納装置を得る。

【解決手段】卵収納孔を2個以上のなるべく少ない単位にした卵皿を複数個左右に並べて載置し、使用しない卵皿を上下反転することで無駄となる卵皿を省くことができる。さらに、個々の卵皿を左右にずらすことで空になった卵皿を容易に取り出すことができ、常に左右のどちらか一方の端側にまとめて卵を収納させることで迷わず古い卵から取り出すことができる。

【効果】本発明により冷蔵庫の収納部内の空間の無駄を省き常に古い卵を取り出すことが可能となるように卵を収納したままで容易に再配置することができる。

図 1



【特許請求の範囲】

【請求項1】扉内面に収納部を構成し、収納部に卵皿を設置してある冷蔵庫において、前記卵皿の上部には2個以上で1列を構成する卵収納孔を有する上壁と上壁から下方に所定寸法で前後に延在する周囲壁が設けられた卵皿を、左右に複数個並べて構成したことを特徴とする冷蔵庫の卵収納装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は冷蔵庫の扉内面に設けられて卵の位置を整理収納するための卵収納装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来よりこの種冷蔵庫においては、卵を庫内に収納することができるよう、例えば特開平6-147742号公報(F25D23/04)に示されるように扉内面に卵ケースを取り付けることにより、扉内面に収納部を構成すると共に、この収納部には複数の卵収納孔を併設した卵皿を設けている。

【0003】この卵皿は通常合成樹脂による一体成形にて構成されており、前記卵収納孔は前後2列もしくは3列に穿設された上壁とこの上壁から卵が倒れない程度の寸法で延在する周囲壁とから成り、卵を立てて収納するもしくは表裏反転させて他の食品の収納にも利用できるようにしている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従って、この場合、卵を一度収納した後は使用する際に取り出すまで卵の位置は変わらないことになる。通常、収納された卵は使用量だけ取り出され徐々に減っていく。この時まだ残量がある間に新しい卵が補充されることがしばしば発生するが、卵は生鮮食品であることから既存の卵と追加補充する新しい卵とは当然分けて管理する必要がある。

【0005】そのためには、既存の卵を追加補充する新鮮な卵より先に使用されるべく片側に再配置する等の配慮が必要となり再配置のための作業が発生する。上記のように従来の冷蔵庫の卵収納装置には一度収納した卵と補充した卵とを区別し管理するための考慮がされておらず、たびたび卵を配置し直すという作業が発生する問題点があった。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明の一実施例によれば、卵収納孔を2個以上になるべく少ない単位にした卵受け皿を複数個左右に並べて設置し、個々の卵受け皿の並べ替えが可能な卵収納装置が提供される。

【0007】

【発明の実施の形態】図1～図4はこの発明の実施の形態の一例を示す図で、図1は本発明による冷蔵庫の卵収納装置の一実施例を示す斜視図、図2は卵収納部分を板状にした場合のもう一つの実施例を示す斜視図、図3は

図2の冷蔵庫扉1上部の断面図、図4は図2の突起部5を傾斜にした斜視図である。

【0008】図1において冷蔵庫扉1は卵収納部2と他の収納部から成る。卵皿3は卵収納孔を有する上壁と上壁から下方向に所定の寸法を有する周囲壁が延在し、卵6を卵収納孔に縦に挿入し収納することができる。また、それぞれ個別に取り出すことが可能でさらに左右に円滑に移動することができる。従って、卵を必要な数だけ取り出した後にまだ卵が卵収納部2に残されている場合、取り出した卵が収納されていた卵皿4を取り出し、残された卵6が収納された状態のままの卵皿3を、卵皿4を取り出したために空いた場所にずらし、取り出した卵皿4を卵収納部2の空いた場所に移すことができる。

【0009】このように卵6が存在する卵皿3を卵収納部2のどちらか一方の端側にまとめて管理することができるため、常に卵収納部2のどちらか一方の端側から卵を取り出すようにすることで、新鮮な卵を補充した後でも迷わず古い卵から取り出すことができる。

【0010】また、卵皿3の周囲壁は収納部2に接する面にのみ存在し隣接するそれぞれの卵皿3と接する面には存在しない。このため卵が収納されていない卵皿3は裏表反転させて卵収納部2の底面と卵皿3の上壁を密接させることにより、卵収納部2内の空間を他の食品の収納にも利用することができる。このように裏表反転させる場合にも卵皿3は2個ずつの収納単位で区切られているため、最低限必要な卵皿3だけを卵収納として利用し、卵が収納されていない部分の卵皿3の無駄を省き卵収納部2の空間を有効に活用することができる。

【0011】次に図2は発明のもう一つの実施の形態の一例を示している。尚各図において図1と同一符号のものは同一、若しくは同一の機能を奏するものとする。卵収納孔を2個有する卵皿3を板状にし、卵収納部2は底面から上方向の所定の寸法の位置に底面と平行する帯状の突起部5を形成し、この突起部5に板状の卵皿3を載置し左右に円滑にずらすことを可能にしている。これにより図1の卵皿3と同様に左右のどちらか一方の片側に卵をまとめて必要な数だけ収納することができる。

【0012】尚、図4は図2の突起部5を卵収納部2の底面と平行とせずに冷蔵庫扉1に向かって左右のどちらか一方に傾斜するように形成したもので、低い方の端に卵を収納すれば卵を取り出したあとの卵皿4を取り出すと残された卵の重みで自然に低い方の端に卵皿3がずれ、簡単に卵の位置を操作することができる。

【0013】

【発明の効果】本発明の一実施例によれば、2個以上の単位の収納孔を有する卵皿を複数設けるため配置管理を容易にし常に古い卵を取り出すことが可能になる。さらに、少ない個数の卵収納孔を有する複数の卵皿で構成するため、必要とする卵だけを最小限の空間で収納するこ

3
とが可能となり卵収納部内に無駄な空間を作らず他の食品も有効に収納することが可能になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による冷蔵庫用卵収納装置の一実施例を示す斜視図である。

【図2】本発明による冷蔵庫用卵収納装置の他の実施例を示す斜視図である。

【図3】卵皿を収納部内に載置した状態の扉内板の上部

縦断側面図である。

【図4】本発明による冷蔵庫用卵収納装置の他の実施例を示す斜視図である。

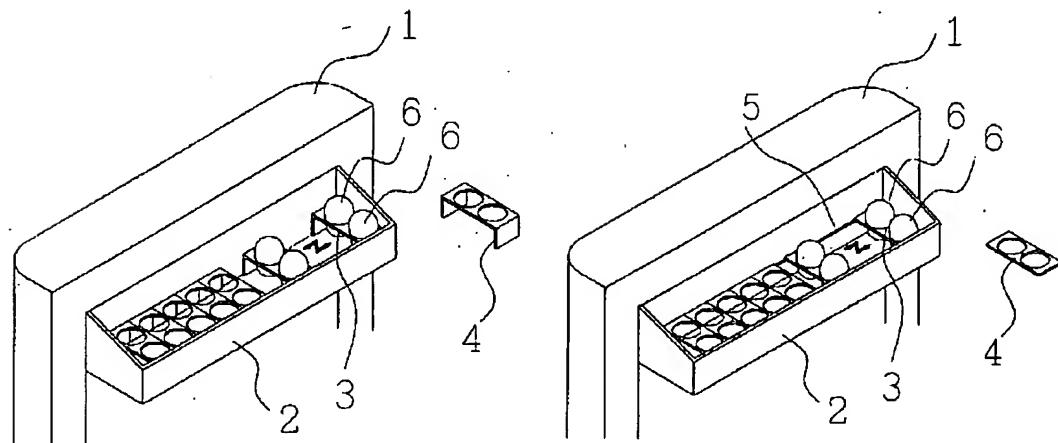
【図5】従来の冷蔵庫用卵収納装置を示す斜視図である。

【符号の説明】

1…冷蔵庫扉、2…卵収納部、3，4…卵皿、5…突起部、6…卵。

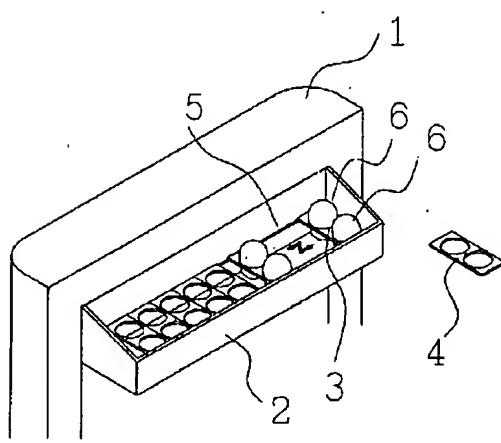
【図1】

図1



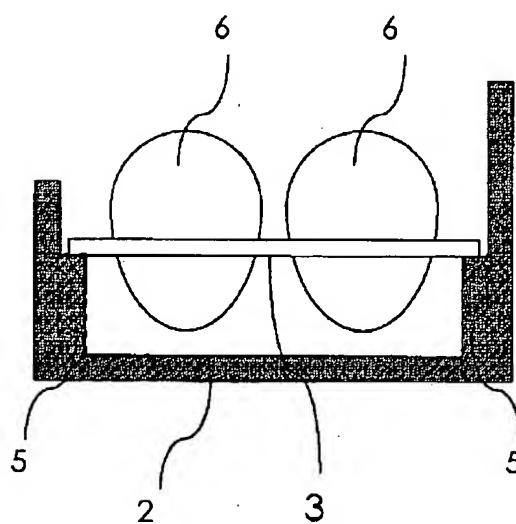
【図2】

図2



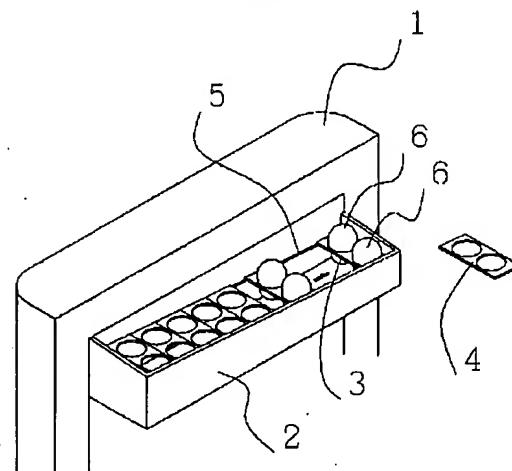
【図3】

図3



【図4】

図4



【図5】

図5

